

コアネットワークにオープン化の波 世界標準「ATCA」が変革起こす



マーク・バトラー氏

サン・マイクロシステムズのNEBS対応ラックシステム、ブレードシステム、ネットワーク&クリプトグラフィック製品のすべてを統括するマーケティング責任者。通信業界には過去8年間従事。コンピュータシステム業界歴は20年以上。

独自仕様から汎用製品へ。次世代通信機器のための標準規格「ATCA」の登場によって今、キャリアのコアネットワークが変わろうとしている。ATCAのマーケットリーダーであるサン・マイクロシステムズ(以下、Sun)のキーパーソンに聞いた。

最近、通信キャリアの間で関心が高まっているATCA(Advanced Telecom Computing Architecture)とは、いったいどのようなものなのでしょうか。

バトラー 次世代通信機器のための新しい標準規格がATCAです。400社以上のキャリアや通信機器メーカーが参加する業界団体、PICMG(PCI Industrial Computers Manufactures Group)が策定したキャリアグレード・ブレードサーバーの標準規格です。

PICMGでは、これまでも通信機器向けの標準規格を策定してきましたが、以前の規格はいくつかの課題を抱えていました。次世代通信サービスが要求する演算速度とスループットを達成していなかったのです。また、包括的なソリューションも提供できていませんでした。

そのため、PICMG標準に準拠した製品の採用は部分的なものにとどまり、キャリアはこれまで同様、各メーカーの独自技術によってネットワークを構築せざるをえなかったのです。

そこにATCAが登場したのですね。

バトラー その通りです。ATCAは、今までのPICMG規格と比べ、はるかに

完成度が高いものです。次世代プロセッサや最新のネットワーク技術に対応したのはもちろん、適用範囲も格段に広がりました。

ソフトスイッチやVoIP、RNC(基地局制御装置)、ゲートウェイなど、さまざまなネットワークセグメントにおいて、ATCA準拠製品はスタンダードになっていくでしょう。

「早く、安く、容易に」を実現

キャリアのATCAに対する期待が著しく高いのは、なぜですか。

バトラー その理由を語るには、まずキャリアが現在置かれている状況を説明する必要があります。

キャリアは今、競争の激化やVoIPの登場により、1加入者当たりの収益低下という局面に直面しています。これを打破するには、魅力ある新しいサービスを提供していかなければなりません。

付加価値サービスの提供は、キャリアにとって最大のテーマの1つです。

バトラー いかにも魅力的なサービスを展開できるかが勝負になっているわけですが、大切なのはアイデアだけでは

ありません。

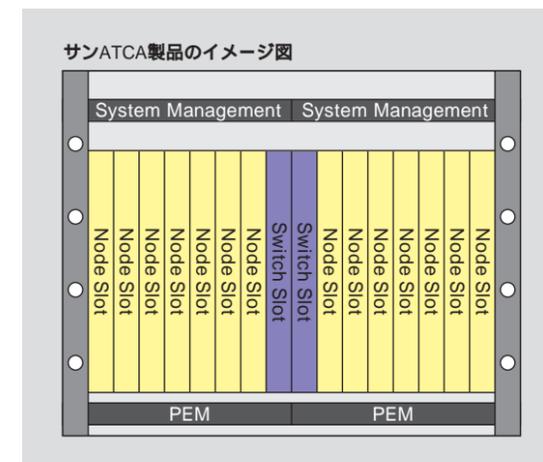
市場投入までの時間をどれだけ短縮できるか、サービスの開発と運用にかかるコストをどれだけ圧縮できるかも、きわめて重要な問題です。

しかし、現在のネットワークインフラは、メーカーそれぞれの独自仕様によるハードウェアとソフトウェアで作られているため、非常に高価です。また、独自仕様ゆえに、詳細な技術は、そのメーカーの人間にしか分かりません。ですから、サービス開発やメンテナンスにも大変な労力とコストがかかっていました。

市場投入期間の短縮とTCOの削減を実現するためには、何としても標準化が必要だったのです。そこに登場したのがキャリアグレード・ブレードサーバーの世界標準となるATCAであり、だからこそキャリアの高い注目を集めているのです。

ベストチョイスを提供

数多くの通信機器メーカーがATCAに対する支持を表明していますが、SunのATCA製品はどのような優位性を持つ



ていますが。

バトラー 最大の特徴は、OSとCPUの両方で、ベストの選択肢を提供できることです。

まずOSですが、通信業界においてリーダーOSの地位を確立している「Solaris™ OS」と、最近急速に人気が高まっている「キャリアグレードLinux」に対応しています。

また、CPUは通信業界で高い実績のある「SPARC®」と、x86互換の64bitプロセッサ「AMD Opteron™」のロードマップに対応しています。さらに近い将来、CMTテクノロジーを導入したCPUブレードの投入も予定しています。いずれのCPUも、1ブレードあたり200Wのパワーバジェットに対し、高いパフォーマンスを出すことができます。

これだけではありません。SunのATCA製品では、主要なキャリアとITベンダーからなる業界団体、SAF(Service Availability Forum)の標準規格に準拠したマネージメントおよび高可用性製品を利用できます。SAF on ATCAのリーダーとして史上初の製品化を目指しています。

以上のようなアドバンテージを持っているため、SunはATCAのマーケットリーダーとして認められているのです。

SunのATCA製品を導入することで、キャリアはどれくらいの効果を得られるのでしょうか。具体的な数字はありますか。

バトラー 難しい質問です

が、次のような例なら紹介できます。あるキャリアは、Sunが提供するSAF準拠のマネージメントおよび高可用性製品を導入することで、サービスの開発時間を約40%低減できると考えています。ATCAというハードウェアの標準化を考えると、間違いなくさらに大きな効果をあげられるでしょう。

待たれるATCA製品の出荷は、いつ頃になりますか。

バトラー キャリア向け通信機器の基準「NEBSレベル3」に対応したブレードシステムを発売予定ですが、開発は最終段階にきています。2005年前半にまず特定顧客への出荷を開始し、2005年後半には一般発売できると考えています。名前は明らかにできませんが、すでに日本のお客様への出荷も決定しています。

ATCAの普及シナリオを教えてください。

バトラー 2005年が移行の年、2006年が導入の年、そして2007年には本格普及を迎えると考えています。クローズドなメーカー独自仕様の時代は終わり、コアネットワークにもオープンプラットフォームの時代がやって来るのです。

< ATCA製品に関するお問い合わせ先 >



サン・マイクロシステムズ株式会社
〒100-0014 東京都千代田区永田町2-11-1 山王パークタワー12F
NSSPプロジェクト
E-mail: netra-japan@sun.com

Sun, Sun Microsystems, サンのロゴマーク, Solarisは、米国Sun Microsystems, Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

すべてのSPARC商標は、米国SPARC International, Inc.のライセンスを受けて使用している同社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。SPARC商標が付いた製品は、米国Sun Microsystems, Inc.が開発したアーキテクチャに基づくものです。

AMD, AMD Arrowロゴ, AMD Opteronならびにその組み合わせは、Advanced Micro Devices, Inc.の商標です。